

吉祥寺東コミュニティ通信

九浦の家づくり

●NO.122 2019 03 31

吉祥寺東コミュニティ協議会
● 武蔵野市吉祥寺東町
1-12-6
吉祥寺東コミュニティ
センター(九浦の家)
●電話0422-21-4141

新元号は？
みなさん総会にご参加ください。

2019 (平成31) 年度 住民総会と講演

4月20日 (土)

講演 午後2時～ 田崎悦子さん

「東町から世界に羽ばたくピアニスト」

総会 午後3時～4時

2018年度事業報告・会計報告
2019年度事業計画案・予算案
役員・運営委員・監事承認



田崎悦子さんは、東町二丁目出身。二丁目には、大正、昭和初期から軍人さんや大手企業の方、学者さんなどの大きなお家がありピアノの音も聞こえ、憧れたという人も。こうしたお宅のかなりの数が、戦後米軍に接収されていた歴史も東町にはあります。疎開からは帰ってきて、戦後十年はまだ世の中全体余裕がなく、今のように子供のお稽古事ができる環境ではなく、ピアノは先生のところへ弾き、おうちでは紙鍵盤で指使いの練習をしたという人も多かったです。

田崎さんはどんなきっかけでピアノを始めたのでしょうか。早く才能を開花させ、小学校6年で全日本学生音楽コンクール優勝。創立間もない桐朋女子高等学校音楽科で学び、フルブライト奨学金で1960年渡米してジュリアード音楽院に進みます。まだ1ドル360円時代。若い女性が単身留学するのはまれでした。シカゴ響の指揮者ゲオルグ・ショルティに評価され、公演にソリストとして出演。以降約30年間米国中心に活動し90年ごろから拠点を日本に。八ヶ岳や奈良でピアノ合宿を行っておられます。「地域のミニコンサート悦子の部屋」とは？

おしらせ

九浦の印刷機の印刷費(版代)を四月1日から改定しました。
●旧料金
一版毎に印刷500枚まで200円、以降500枚ごとに100円追加

●新料金
版代：一版につき50円
インク代：500枚まで300円
以降2000枚までは500枚増えるごとに100円追加

2001枚からは料金切り替え。
2001～2500枚は800円、以降500枚増えるごとに200円追加
九浦の家の紙を購入する際の代金

(A4一枚1円、A3一枚1.2円)は変更なし
印刷機導入は20年前でした。以後、沢山の団体、グループ、個人にご利用いただいておりますが、トナー代、原紙代の赤字が膨らんできました。ご理解ください。



ソメイヨシノの古木の跡継ぎに、2本枝垂れ桜の苗を植えました。右 大漁桜(一重淡紅) 左 紅華(八重紅) お楽しみは15年後？

予告

- ◆東部福祉の会総会
四月19日(金) 14時～ 本町コミセン
- ◆青少協本宿地区委員会総会
四月20日 10時～ 本宿小集会室
- ◆つどい「地域の諸問題」
四月22日 19時～ 九浦の家
- ◆東部防災会総会 五月19日 10時～
本宿コミュニティセンター

東町ニュース

三月半ばはミモザが咲きました。早咲きの枝垂桜が20日ごろ。山吹も咲き、真っ白なコブシがきれいです。開園5年目の宮本小路公園では、ポランテアさんの手で、ラナンキュラスやルピナスが見事に植えられました。三月末、枝垂れ桜もすっかり開花。竹林にはもう盗掘除けのオレンジのシートが。



◎三月20日第67回三中学卒業式。男女55名ずつ110名が卒業。校長式辞は「壁にぶつかることもあるだろうが、夢と希望を持って道を切り開いて欲しい。仲間を信じ、助け合い、支え合って」。毎年のごとですが、肅々と、素晴らしい合唱の式でした。
◎三月25日、第四小、本宿小卒業式。第四小学校50名卒業。校長から証書と共にヒマワリの種が贈られる。着物6名。本宿小は49名卒業。男子が女子の倍、でも仲の良い学年でした。しっかりして品の良い卒業生。5年生の立派だったこと！。四月から最高学年になる気構えを感じました。卒業生を演奏で送り出した後、父母席から拍手が起りました。着物が2名、セーターの男子も。男女ともブレザー姿が主流です。

街づくりができるのは、

東町一丁目(平井医院跡地・プラス後地)の使い方

昨年十二月11日、第二回「東町一丁目市有地の利活用を考えよう」(市総合政策部資産活用課)を九浦の家で行い、雨の中26名が参加しました。市ではなんらかの福祉機能との複合化、多機能化を考えています。

この日市は、参考施設例を複数示し、この地域では何が望まれているかを、旗揚式でアンケートしました。

参考例として「北町高齢者センター・みずきつ」 「ナースケアたんぼの家(看護小規模多機能型住宅介護)」 「グループホームなごみ方南」 「すくすく泉」 「デンミリオンハウスくるみの木」 「マジーズ東京」 「喫茶ランドリー」が紹介されました。いくつかの施設については見学会も行われています。

全体で意見交換した後、5グループで施設空間全体のコンセプト、使いかたを検討、シートにまとめました。盛り沢山のテーマの検討を2時間で行いましたが、具体的な使い方をイメージするための作業課程と、思っていた欲しいそうです。

この日の成果物(各グループのイメージ図と望ましい運営主体)は担当課でさらに検討し、次回五月19日の第3回目のワークショップで、絞られた選択肢が示されるようです。

あくまで地域での福祉的施設や活動への要望を市が汲み取るためのワークショップで、地域要望がまとまれば即ち実現という

うことではありません。市は公民連携(CPP)方式で今回の計画を行う予定です。

どのグループからも、中心福祉施設の他に、地域に開かれたサロンのような共用スペースの希望が出ています。

担当課発行の「ワークショップニュース」によれば、感想カードには、集約の難しさをあげつつも「地元の人々の居場所、集う空間を残して欲しい」など、テーマに関する物の他に「違う世代のニーズに気づいたり、たくさんの方の意見を聞いたり話したりで楽しかった」「もつと懇談の機会があれば」とか、「見学が強烈な印象。知らない内容の施設もありショックでした」など、地域を考える良い機会でもあったことが窺えます。

建物・運営・資金など制約を踏まえ、今後はどんな現実的なプランを、次回五月に提示するのでしょうか。

各グループのイメージ図が載った担当課発行のワークショップニュースは、九浦の家でご覧になれます。

三月7日19時から公会堂で公募外の団体の方など対象の意見交換会が行われ、14名が参加されました。



今年も賑やかに餅つき

一月27日、26名が参加、食べるのも搗くのも楽しみました。若い搗き手が欲しい。



↑ 搗き手として奮闘してくれた若者に、打ち上げ反省会では大感謝の主催者。期待する次の世代のシルバースワローズに、搗き方のコーチ

- ◎十二月15日、三中防災訓練を東部防炎会の協力で。生徒88先生7名、全体で23名の参加。定着してきました。一度の経験でも、いざという時には役に立つ。
- ◎十二月10日、今年念願の優勝を遂げた野球チーム本宿シルバースワローズ、表彰されました。
- ◎本宿小の兎のシヨコラ、長命で人気者でしたが一月8日冬休み中に死にました。
- ◎三月21日、三中吹奏楽部のスプリングコンサート。卒業した3年生との最後の演奏に50人出場。嵐メドレーで弾ける。
- ◎二月22・23日、本宿小はとの子作品展。お馴染みの6年生の「イイ・イス」が「一枚の板から」に代りました。舞台上のいろんな形にアルミ箔を巻きつけた6年生のオブジェ群が目を見ました。
- ◎一月8日、四小恒例のどんと焼きに600余人。PTA・福祉の会ははじめ、消防署、分団まで、諸団体の協力で無事終了。
- ◎二月15日、20日の2回にわたり三中1年生の進路学習の一環「働く人の話を聞く会」は、二丁目の笹隈造園笹隈賢次さんと、みずき建設社長宮下真一さんが講師に。
- ◎ロジャヤース移転です!。ダイヤ街ロウン跡へ。
- ◎宮本小路の立体駐車場跡地、三月末、戸建て住宅の工事が始まる。
- ◎本宿小学校南の高架下、本宿コミセン東に、待望の病児・病後児保育施設。定員5名。市内稲垣グループの経営。認証保育園「キッズいなぎ保育園吉祥寺」定員40名に併設です。稲荷通りはそれなりの交通量ですが、園の入り口はほとんど車が通らない高架沿いの道に面しています。
- ◎三月上旬、平井医院跡地をハクビシンがゆつくりと北へ。

そこで生活する私たちです。

四月一日から「ゴミ」の 収集日が変わりました

ゴミ収集車の効率化や環境負荷の削減が目的です。生ゴミほか燃やすゴミ、古紙、プラ製容器包装回収以外は、回数が減ります。一層の減量、カサ減らしが求められています。

31年度版のゴミと資源の収集カレンダー(東町地区一年分)が、三月15日に各戸配布されました。

変更

プラスティック製容器包装(透明、半透明の袋) 毎週金曜

ペットボトル

隔週の火曜

四月は第二・第四火曜

五月六月は 第一・第三火曜

七月は第一・第三・第五

八九月十月は、第二・第四…と複雑

びん・缶

危険有害ゴミ(赤い袋)

隔週の火曜

四月は第一・第三・第五火曜

五月は第二・第四火曜

六月、七月は第二・第四

八月、九月は第一・第三…と複雑

燃やすプラスチック(緑の袋)

隔週の水曜

四月は第一・第三

五月は第一・第三・第五水曜

六月、七月は第二・第四

八月、九月は第一・第三…と複雑



1月のつどいで、4月からのごみ収集の勉強。環境負荷の削減(減量、回収車の効率化)など理由は納得。でも、間違えそうだなあ。参加者が多いつどいでした。

第一火曜、とか第二水曜とかが解りやすいのですが、第五週がある月でずれるので、生活感覚上は複雑で、しばらく混乱しそうです。カレンダーの外国語説明は、英・中・韓。

配布された「収集カレンダー」で確認するか、武蔵野市ゴミアプリで確認を。カレンダーに、色違いのシールを貼ってみようという方もいます。

従来通り

燃やすゴミ(緑の袋) 毎週月曜 木曜
古紙・リサイクル古着 毎週 火曜

外環のいま 本線・地上部街路

◇外環本線につき、一月12日・17日本宿小で、大泉からの工事説明会を開催。

①一月26日シールドマシン発進式を行い、一年ほどかけ大泉街道まで初期掘進し、2年後には青梅街道まで進む予定。

②緊急避難計画は、「緊急時」とは「トンネル内に大量の土砂が流れ込んだ時」で、これ以外の事象は考えていない。緊急時に

は、広報車と戸別訪問でお知らせをする。

③問題になった気泡シールド工法を添加材・圧力調整しつつ武蔵野部分でも使う。工事契約は21年三月までですが延長される見通しだそうです。

◇二月16日オープンハウス(本宿小)では、パネル展示と個別説明会の後、懇談会形式の質問会に応じてくれました。トンネル内事故時の避難(横連絡坑の場所)については検討中。東町の交通問題は認識しているが具体的には何もしていない。

世田谷からのマシン2基は二月19日に出発式。国土交通大臣や都知事も立ち会う。シールドマシンはすでに民家の下に入り、三月11日に「雁追い橋」を通過。成城三丁目に四月8日頃到達と予測されています。

練馬外環の2(地上部道路)の前原以南、新青梅街道から千川通りまで700mが昨年十二月25日事業認可された。

◇地上部街路に関する話し合いの会の「中間まとめ」は、24回分の議事録から、住民構成員の意見を抜き出す作業を29回の作業部会でほぼ終え、31年二月8日の編集会議(住民構成員)で提示、検討されました。

◇一月25日、武蔵野地区外環問題協議会(本宿、南、吉祥寺東の3コミセンネット)が学習会で、調布市在住の菊池春代さんを講師に、野川に気泡が発生したシールド工法の問題につき、報告を聞きました。

◇一月30日、市議会外環道路特別委員会の大泉工事現場見学に、住民8名も同行させて貰えました。「マシンの余りの巨大さに、これが地下を行くと思うと不安になりました」と見学に参加した方。

◎昭和60年開店以来33年間、洒落た店がまえの五日市街道「家具の富士」が、三月24日で閉店しました。

◎オリジンの西側に殖産ベストホーム社屋工事中。今年の夏オープン予定。

◎五日市街道サンロード入り口近くの「いけす」 「大網」。08年五月閉店ですから十年以上空き家でした。十二月から解体工事、三月末解体済みです。北に大きく青空が。

◎隣の保護犬のペットショップ、一月閉店。24日に最後のワんちゃん達を搬出。

◎隣のピザ店跡は「パンダ君」。雑貨と手作り雑貨などの展示ケース(レンタルボックス)があり、販売はお店が代行するシステム。一階はタピオカ。三月9日開店。

◎うぐいす小路入り口韓国料理ハル、昨年末に閉店。三月3日、インディアンレストランカフェ&バー「シタール」に。

◎カフェゼノン入口の男性カジユアル店が、眼鏡の「salon Optics」に。

◎女子大通りドーナツプラント吉祥寺店兼セントラルキッチン一月30日閉店。

◎今年の一月24日青少協のバス研修は、本宿小4年生ブレセカンドスクール宿泊施設見学と忍野八海。一月は休館中のためお風呂場まで見学できました。

◎十一月25日、子どもを守る家スタンプラリー、守る家44軒、親子参加370名近く。フレンドパークには332名が参加。パン食い競争が復活しました。ジャンポリーの中高校生リーダーに呼びかけたら、中学生7高校生1計8名が、会場整備やデモンストラクションなど受け持つてくれました。

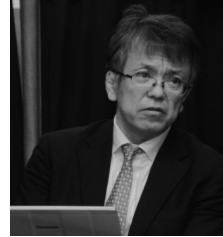


アジアを知ろうタイ編

タイの今を知る4 十二月8日

デルタ国家タイの経済と、変わる日本との関係

大泉啓一郎東大大学院経済研究科非常勤講師(所属日本総研)



コメの輸出国から工業国へ、EPOを乗り越え経済発展は目覚ましい。日本企業工業団地が洪水被害にあったのも記憶に新しいが、今後の日本との関係、タイ経済の展望を 経済に詳しい大泉先生にお聞きしました。

30年前学生の頃見たバンコクは、東京と変わらない都会を感じ、決して貧しい国ではないと思った。元はと言えば川にかまわれたデルタ地帯のアユタヤに人が住み始め、稲作で次第に人口が増え、周辺の外国人も住むようになり、貿易の町としても周辺国と同化しながら徐々に栄えてきた。王様は外国人の使い方が上手く、華僑の同化が進み、1980年代後半からはタイ人は商売だけで生きていくことが可能となる。盛んな貿易で工業製品を外国企業に求めてもらって海外に売り、企業がたくさんできて国際化も進む。家電企業は全部海外、特に日本の力は大きかった。日本企業で80万人以上のタイ人が働き、日本人町ができ、日本料理店も増えていった。

しかし、現在のタイでは子供の数が減り続け、少子高齢化の時代がやって来ている。労働力不足のため近隣諸国からの人の流入は止められない。結果、不法労働者が多く、タイ語が通じないという問題も生じた。したがって、消費社会の格差は大きくなる一方、このままタイの成長が続くかというところ、デジタル産業、インターネットの普及があっても全ては解決できない。高度成長に乗れなかった農村部はこれから先どうなるか。選挙はどうなるか。これから観光資源に頼れるか? プミポン国王亡き後、これから先も国王は実権を握れるのか?

る一方、このままタイの成長が続くかというところ、デジタル産業、インターネットの普及があっても全ては解決できない。高度成長に乗れなかった農村部はこれから先どうなるか。選挙はどうなるか。これから観光資源に頼れるか? プミポン国王亡き後、これから先も国王は実権を握れるのか?

タイ編タイの今を知る5 二月2日

日タイ関係の歴史と今後の展望

柿崎一郎横浜国立大学教授

日タイの関係は最近台湾でみつけた資料により六百年前までは遡れる。その初期、琉球の中継交易の繁栄(朝貢船)。朱印船貿易の時代に日本人町の出現、山田長政(1622年渡タイ)の時代。日本人街には五百人ほど住み、傭兵として雇われていた。これが、鎖国で日本人町は終焉する。以後物品はオランダと中国の船のみ。唐船にアユッタヤー船が紛れ込む。赤い染料、鹿やサメの皮が運ばれた。

日本の影響力の拡大は、日タイ間の外交関係樹立による。修好条約締結方二関スル日暹宣言書(1887)。稲垣満次郎(初代タイ国駐在公使)の尽力がある。

タイのチャックリー改革はチュラーロンコーン大王による近代化のための改革で、お雇い外国人として、法律顧問の(政尾藤吉)・養蚕の奨励(外山亀太郎)・女子教育の開始(安井てつ)などが活躍した。

世界大戦時のタイは日本軍の防衛拠点化された。日本はタイから撤退したが、その後1955年ごろから急速に関係が復活する。以下現代の多様な文化面も含めた双方方向の日タイ関係に。5年間暫定政権、総選挙で民政復帰

なるか。

柿崎さん2度目の登壇です。第2次大戦も含め、日タイの長い歴史と、今日の経済関係を、分りやすく話してくださいました。記録は九浦の家にあります。

ついでに

十一月22日(木)

「平和」あなたの戦時・戦後体験をお聞かせください。防空訓練 防空壕 灯火管制 天水桶 戦中の遠足 代用教員など。当時東町で小学生だった小峰光弘さん作道清行さんが進行

十二月20日(木)

「平成最後の歳末にあたり…」

一月24日(木)

「ゴミの分別(小型家電含む)と収集日について」 説明:ゴミ総合対策課

二月25日(月)

「自治基本条例(仮称)について」 説明:企画調整課

三月26日(火)

「市文化振興基本方針について」 説明:市民活動推進課 (公財)武蔵野文化事業団 写真下

一月以降は、市の施策の勉強会が続きました。資料はコミセンにあります。

「まち企画」で

「エコプラザ(仮称)の整備に向けた市の基本的な考え方(案)について

十一月12日、環境政策課による説明と質

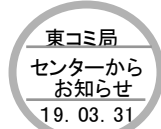


疑応答 写真下

「東町の緑を見て歩こう」二丁目三月23日午前、行程1時間

「ふるさと歴史館にいつてみよう。」三月24日10時現地集合

「吉祥寺東落語会」一月22日春風亭三朝さん。この日は「二番煎じ」と「たちちめ」でした。



「九浦主催教室のうち、森先生指導の「囲碁基礎講座」は、四月新年度募集から、級位者対象 第1・第3水曜日となります。

「軽スポーツの日」自主事業に。

「今年も一月5日臨時運営委員会、コミニティセンター「自己点検評価表」について協議、自己評価しました。

「ホールのカーテンを補修、クリーニングしました。

「二月中に、九浦の自転車置き場で、自転車の鍵に対する悪質ないたずら2回。

「高田昭彦成蹊大学名誉教授より「公民館とコミニティセンター」いただく。

「日大理工学部大学院佐藤光彦教授、院生2人と一月8日コミセン建築調査で来館。

「吉祥寺図書館から絵本30冊もらう。

「今岡准子さん退任、高木凱生、菅原咲良さん新窓口担当運営委員に。

「六月2日予定のフリマで出す、廃油利用の石鹸を作るため、使用済みの食用油を集めます。ペットボトルなど割れない容器でお持ちください。油はずっと集めます。

「お詫び」40年誌発行で力尽き、十二月以降広報担当が3人体調を崩し、九浦の家だより新年号を休みました。